

## 出来事（2017年9月）

### 1. 原料原産地表示

加工食品の原料原産地表示制度について、「食品表示基準の一部を改正する内閣府令（案）」が消費者委員会・食品表示部会で了承され、新たな食品表示基準が9月1日に施行されました。長い猶予期間が設けられましたので、完全施行は2022年4月1日です。

### 2. 第9版添加物公定書

「第9版に記載されない既存添加物である152品目」に該当する品目を有する複数の企業関係者から、「案を提出したが、・・・」というような情報が、当事務所に寄せられました。さらに、152品目の中に、参考となる規格がJECFAや欧米で設定されている品目が41あることが判明しました（厚生労働省から国会議員事務所への9月8日付けのFAX）。

### 3. 規格基準の改正

アルミニウムの摂取量の低減化のために、硫酸アルミニウムカリウム（カリ明礬）及び硫酸アルミニウムアンモニウム（アンモニウム明礬）のパン及び菓子類への使用量を0.1g/kg以下に制限するための使用基準の改正について、食品安全委員会で健康影響評価が進められています。8月31日の添加物専門調査会で評価書が了承されました。

### 4. 食品添加物の新規指定

8月の新規指定はありません。

国際調和のアルミニウム含有食品添加物4品目についての状況は変わっていません。

- ・アルミノケイ酸ナトリウム（固結防止剤）
- ・ケイ酸アルミニウムカルシウム（固結防止剤）
- ・酸性リン酸アルミニウムナトリウム（膨張剤）      ・カルミン（着色剤）

また、プロピコナゾール（防かび剤）の新規指定については、7月4日に健康影響評価結果が厚労省に通知され、薬食審の審議が行われます（10月6日）。

### 5. フモニシン TDI とリスク評価

食品安全委員会において、TDI：2 $\mu$ g/kg 体重/日 と設定され、「リスク管理機関において、フモニシン汚染状況のモニタリングを行うとともに、その結果を踏まえて規格基準について検討することが望ましいと考えられる。」とされました。

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/PcmFileDownload?seqNo=0000162668>

規格・基準が設定されている紫トウモロコシ色素のフモニシンB<sub>1</sub>についても、暴露量（摂取量）の実態調査が必要と思われます。

## 6. 遺伝子組換え食品添加物

安全性審査が終了し公表された遺伝子組換え添加物（287品目）（2017年8月21日現在）

安全性審査が終了した遺伝子組換え添加物リスト（76品目）（2017年8月8日現在）

安全性審査継続中の遺伝子組換え添加物（4品目）（2017年8月21日現在）

ホスホリパーゼ（DSM）、キモシン（野澤組）、リボフラビン（DSM）、酸性ホスファターゼ（オリエンタル酵母） \*企業名は、報告書作成者による簡略名です。

## 7. 内閣府食品安全委員会 新たなワーキンググループの設置

9月26日の内閣府食品安全委員会で、2つのワーキンググループの設置が了承されました。

- ・アレルゲンを含む食品に関するワーキンググループ
- ・香料ワーキンググループ

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20170926fsc>

## 8. プエラリア・ミリオフィカを原料に含む食品の取り扱いについて

9月22日、厚生労働省は、事業者に対する指導を都道府県等に通知しました。その中で、指導事項を実施しない事業者に対しては、製品の取り扱いを中止するよう指導することを求めました。

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzentu/pueraria0922.pdf>

## 10. 国立健康栄養研究所の移転

「政府関係機関移転基本方針」（平成28年3月22日 まち・ひと・しごと創生本部決定）に基づき、大阪府と厚生労働省、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が中心となり、国立健康・栄養研究所を大阪府摂津市に位置する北大阪健康医療都市（愛称：健都）の健都イノベーションパーク内へ全部移転すると、3月31日付けで公表されました。

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000161140.pdf>

それに伴い、栄養疫学・食育研究部長と食品保健機能研究部長（いずれも招聘型任期付研究員）が募集されています。（期限：10月31日）

## 11. 食品の放射能問題

（原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限）

- ① 福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の特定の動植物の出荷の制限(9月11日現在)。
- ② 9月、新たな出荷制限はありません。

## 12. カナダ 部分水添油（PHOs）使用禁止へ 9月5日付けの変更通知

4月7日、ヘルスカナダは部分水添油（PHOs）の使用禁止を提案し、75日間のパブコメを行い、1年後に「不純物リスト」に掲載される予定とのことです。米国とよく似ています。

<https://www.canada.ca/en/health-canada/services/food-nutrition/public-involvement-partnerships/modification-prohibiting-use-partially-hydrogenated-oils-in-foods.html>

### 13. EU 新規食品 (Novel Food) 8月28日

ビタミンD濃度の増加のためにUV照射された *Agaricus bisporus* (マッシュルーム、和名：ツクリタケ) が、新規食品のリストに追加されました。

[https://ec.europa.eu/food/sites/food/files/safety/docs/novel-food\\_authorisation\\_2017\\_auth-letter\\_uv-mushrooms\\_en.pdf](https://ec.europa.eu/food/sites/food/files/safety/docs/novel-food_authorisation_2017_auth-letter_uv-mushrooms_en.pdf)

### 14. 健康のため水銀を歴史に

水銀に関する水俣条約が採択されてから約4年後、2017年8月18日に、人の健康と環境を水銀の悪影響から守ることを目指すグローバル条約が発効しました。第1回締約国会議 (COP1) が、スイス・ジュネーブ国際会議場で2017年9月24日から29日まで開催されました。「水銀週間」(9月22日～29日)のテーマは、「水銀の歴史を作る」です。

[http://www.who.int/ipcs/assessment/public\\_health/make-mercury-history/en/](http://www.who.int/ipcs/assessment/public_health/make-mercury-history/en/)

水俣条約は、2013年に熊本県で開かれた国際会議で採択されました。条約の発効に伴い、限定された用途以外の水銀の輸出入が禁止されます。蛍光灯や電池など一定量以上の水銀を含む製品の製造や輸出入も、2020年末までに原則禁止されます。

注) 米国環境保護局 (US EPA) に比べ日本の食品安全委員会の基準 (RfD:  $2\mu\text{g/kg}$  体重/週) は約3倍高いと思います。

### 15. 英国のタバコ規制から日本は何を学ぶか?

日本のタバコ政策の批判が「Lancet」に掲載されました。「英国が受動喫煙から国民を守った。日本の厚労省は、東京オリンピックを目指して受動喫煙防止策を提案したが、タバコ政治家が反対した。・・・」と批判されています。

[http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(17\)32169-4/abstract](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(17)32169-4/abstract)

小児科学会の新しい論文によると、タバコの価格上昇は乳幼児死亡率の低下と関連し、プレミアムタバコと安いタバコの価格差が大きいほど乳児死亡率は上昇するとのことです。

[https://www.eurekalert.org/pub\\_releases/2017-09/tjnj-cpd091417.php](https://www.eurekalert.org/pub_releases/2017-09/tjnj-cpd091417.php)

### 16. 輸入食品の違反事例

- ・大榮産業株式会社がイタリアから輸入した「リキュール」の行政検査で、エステルガムの対象外使用による使用基準不適合とされ、廃棄、積み戻し等が指示されました。
- ・伊藤忠商事株式会社が米国から輸入した「加熱後摂取冷凍食品 (凍結直前未加熱) : にんじん」の行政検査で、指定外添加物 (塩素酸カルシウム) 使用により廃棄、積み戻し等が指示されました。 (作成: 2017年9月30日)